

2020年度

事業報告書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟

目 次

【法人の概要】 …P 1－P 3

- 1 設立年月日
- 2 定款に定める目的
- 3 定款に定める事業内容
- 4 所管官庁に関する事項
- 5 会員の状況
- 6 主たる事務所
- 7 役員に関する事項
- 8 職員に関する事項
- 9 役員会等に関する事項
- 10 法人の課題

【公益目的事業】

第1. 普及・啓発に関する活動 …P 4－P 9

- 1 JBDF「はじめてのボールルームダンス」(社交ダンス)指導者養成講習会事業
- 2 学校学習支援事業(キャラバン隊、行政・学校・団体等連携協力事業を含む)
- 3 サマーセミナー、定期研修会
 - (3-1) サマーセミナー
 - (3-2) 定期研修会
- 4 地域協会支援事業
- 5 その他の活動
 - (5-1) ジュニアダンス開発
 - (5-2) 震災復興支援

第2. 相談・助言に関する活動 …P 9

- 1 優良教室認定事業

第3. 調査・資料収集に関する活動 …P 9－P 10

- 1 機関誌作成事業
- 2 その他の活動
 - (2-1) 国際渉外活動
 - (2-2) 資料室運営

第4. 資格付与に関する活動 …P 10－P 11

- 1 プロフェッショナルダンス教師5級認定試験事業
- 2 資格認定事業

第5. 競技会に関する活動 …P 11－P 14

- 1 JBDFジュニアダンスフェスティバル2020
- 2 JBDF全日本プロフェッショナルダンス選手権大会
- 3 日本インターナショナルダンス選手権大会
- 4 スーパージャパンカップダンス
- 5 全日本10ダンス選手権大会

第6. 競技選手の育成および指導に関する活動 …P 14－P 15

- 1 強化指定選手助成事業
- 2 その他の活動
 - (2-1) ナショナルチーム選手育成
 - (2-2) スプリングキャンプ

【収益事業等】 …P 15

- 1 出版物の刊行・販売に関する活動

【その他の事業(相互扶助等事業)】 …P 15－P 17

- 1 海外で開催される競技会のチケットの販売に関する活動
- 2 外国人招聘手続代行に関する活動
- 3 JBDFプロフェッショナルダンス教師資格認定、試験審査員認定、採点管理者資格認定に関する活動
- 4 会員向け福利厚生制度・団体保険に関する活動

【法人の概要】

1 設立年月日

1992年3月24日 財団法人として発足
2014年4月1日 公益財団法人へ移行

2 定款に定める目的

この法人は、わが国におけるボールルームダンス及びボールルームダンス技術の発展と普及を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

(事業)

- (1) 普及、啓発及び指導
- (2) 競技会の実施、公認及び認定並びに競技規則の制定
- (3) 指導者の資格認定
- (4) 競技の審査員の資格認定
- (5) 研修会、講習会の開催
- (6) 国際組織への加盟並びに国際的競技会等への選手・役員等の派遣
- (7) 技術の研究、開発及び競技選手の育成、指導
- (8) 調査、資料収集
- (9) 教室の健全な育成、指導及び助言
- (10) 競技等に関する施設の設置及び運営
- (11) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、本邦及び海外にて行うものとする。

(その他の事業)

- (1) ボールルームダンス技術書、音楽著作物等の刊行
- (2) ボールルームダンス用品等の販売
- (3) その他、前2号に定める事業に関連する事業

4 所管官庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

5 会員の状況

正会員	1, 531名	(プロ 1, 510名、アマ 21名)
登録会員	6, 273名	(プロ 3, 844名、アマ 2, 429名)
認定会員	402名	(プロ 402名、アマ 0名)
合計	8, 206名	(プロ 5, 756名、アマ 2, 450名)

(2021年3月31日現在)

6 主たる事務所

東京都中央区日本橋浜町2丁目33番4号 日本ダンス会館

7 役員に関する事項

会長・代表理事	稲川 素子	非常勤	(株)稲川素子事務所 代表取締役
副 会 長	内田 芳昭	非常勤	国分寺ウチダダンススクール 代表取締役
専 務 理 事	石原 久	非常勤	石原ヒサシダンススクール
常 務 理 事	秋田 祈雄	非常勤	アキタトシオダンススクール
常 務 理 事	伊藤 武彦	非常勤	ソーシャルダンスアカデミーダイナ 相談役
常 務 理 事	大山 綱明	非常勤	(公財)日本関税協会 顧問
常 務 理 事	奥村 三郎	非常勤	ダンススクールオクムラ
常 務 理 事	嶋村 徹郎	非常勤	嶋村ダンススクール
常 務 理 事	千田 耕平	非常勤	K&Sチダダンススクール
常 務 理 事	鳥居 洋子	非常勤	鳥居ダンススクール
常 務 理 事	野村 泰雄	非常勤	野村ダンススクール 代表
常 務 理 事	ニツ森 司	非常勤	(有)ニツ森企画 代表取締役
理 事	石川 晋	非常勤	(公財)日本健康スポーツ連盟 副理事長
理 事	石崎 朔子	非常勤	二階堂学園 理事長
理 事	大宅 尚武	非常勤	(株)メディカルヘルスケア 代表
理 事	佐伯 聡夫	非常勤	学校法人日本ウェルネススポーツ大学 教授
理 事	前嶋 信彦	非常勤	慶應義塾大学 名誉教授
監 事	板清 親雄	非常勤	
監 事	坂本 忠	非常勤	(有)沢田企画 代表取締役
監 事	松井 創	非常勤	野崎・松井法律事務所 弁護士

(2021年3月31日現在)

8 職員に関する事項

	職員数	男 性	女 性
事務局職員	9名	(5名)	(4名)

(2021年3月31日現在)

9 役員会等に関する事項

	開 催 年 月 日	議 事 事 項
理事会	2020年 4月17日 ※書面により理事会の決議があったものとみなされる日	1. 第41回2020年日本インターナショナルダンス選手権大会の中止について
	2020年 7月 6日	1. 2019年度事業報告及び収支決算(案)について 2. 理事候補者、監事候補者の推薦について 3. 第11回評議員会の開催について 4. 2020年度JBDF全日本プロフェッショナルダンス選手権大会開催中止について 5. 2020年度事業計画及び予算見直しについて 6. 2020スーパージャパンカップダンス負担金について

		7. 名誉役員の推薦について 8. アドバイザー規定設置並びに名刺作成・利用規定の制定について
理事会	2020年 8月 3日	1. 代表理事の選定について 2. 各種委員会委員長および委員の選任について 3. 名誉役員候補者の推薦について
	2020年10月26日	1. 評議員候補者の推薦について 2. 2021スーパージャパンカップダンス業務委託について 3. 第42回／2021年日本インターナショナルダンス選手権大会について 4. 資格審議委員会委員の追加選任について
	2021年 1月25日	1. 2021年事業計画案および予算案について 2. 2020スーパージャパンカップダンス業務委託契約書締結について 3. 第42回／2021年日本インターナショナルダンス選手権大会業務委託契約書締結について 4. アドバイザー規定設置の制定について 5. 名刺作成・利用規定の制定について 6. JBDFアカデミー設立について
	2021年 3月 8日	1. 普及委員会委員長選任について 2. 名誉役員（顧問）の再任について 3. 第12回定時評議員会開催について 4. 2021スーパージャパンカップダンスTV放映について
評議員会	2020年 8月 3日	1. 2019年度事業報告の件 2. 2019年度収支決算書（案）承認の件 3. 理事および監事選任の件

10 法人の課題

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、競技会を始めとする多くの事業が中止となった。認定教室においても休業や営業自粛等、その影響は広範囲におよび、今後の展望も見通せない状況が続いた。

このような状況にあって、リモートでの競技会開催や本連盟のガイドラインに沿った、感染症対策に基づき、徐々に試験や講習会を開始した。

2021年度についても、新型コロナウイルス感染症は収束しないことを前提に、感染対策に万全を期して、事業を推進する必要がある。

【公益目的事業】

第1. 普及・啓発に関する活動

1 JBDF「はじめてのボールルームダンス」（社交ダンス）指導者養成講習会事業

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

- (1) 目的 学校教育、社会教育の場、さらには学社連携による教育の場において、全国の多くの児童・生徒がボールルームダンス（社交ダンス）の特徴である音楽と運動の両面から「創造できる楽しさと踊りの深まり」や「人とのかかわりの調和」等の学びの体験を通じて、生涯にわたって運動に親しむとともに豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育て、健やかな心身を育むことを目的に、学校・地域でのボールルームダンス指導の実践に役立つ実技と指導法を講習し、全国に裾野を広げていくボールルームダンスの指導者の養成を図る。
- (2) 主催 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (3) 指定 文部科学省「教員免許状更新講習」
- (4) 助成 (独立行政法人) 日本スポーツ振興センター
「toto スポーツ振興くじ助成」
- (5) 後援 スポーツ庁並びに開催地都道府県教育委員会
- (6) 講師 学校指導者養成事業部本部講師（文部科学省の承認を得た指導者）
- (7) 対象 全国の幼稚園教諭、小学校教諭、中・高等学校保健体育教諭、特別支援学校教諭およびボールルームダンスの指導に関心のある一般の大人
- (8) 募集方法 文部科学省ホームページ、都道府県教育委員会、教員免許状更新講習受講者の関係教諭、HP及び機関誌、ダンス関係雑誌、開催地近隣の小学校
- (9) 開催地区・開催都市・開催期日

ア【北海道地区：札幌会場】

- ・第1期開催日：2020年7月30日（木）・7月31日（金）
- ・第2期開催日：2020年11月14日（土）・11月15日（日）
- ・会場：タカダンス栗林スタジオ
- ・住所：〒062-0931 北海道札幌市豊平区平岸一条 2-5-10
(電話：011-827-7611)

イ【東北地区：仙台会場】

- ・第1期開催日：2020年8月17日（月）・8月18日（火）
- ・第2期開催日：2020年10月3日（土）・10月4日（日）
- ・会場：アクアホール
- ・住所：〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 3-5-16 アクアビル 5F

ウ【関東・甲信越地区：東京会場】

- ・第1期開催日：2020年8月4日（火）・8月5日（水）
- ・第1期会場：江東区森下文化センター
- ・第1期住所：〒135-0004 東京都江東区森下 3-12-17
(電話：03-5600-8666)
- ・第2期開催日：2020年10月17日（土）・10月18日（日）
- ・第2期会場：未定

エ【東海・北陸地区：静岡会場】

- ・第1期開催日：2020年8月9日（日）・8月10日（月）
- ・第1期会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
- ・第1期住所：〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵1-17-1
（電話：052-255-8440）
- ・第2期開催日：2020年10月24日（土）・10月25日（日）
- ・第2期会場：未定

オ【近畿・中国・四国地区：大阪会場】

- ・第1期開催日：2020年8月21日（金）・8月22日（土）
- ・第2期開催日：2020年11月7日（土）・11月8日（日）
- ・会場：大阪府教育会館 たかつガーデン
- ・住所：〒543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町7-11
（電話：06-6768-3911）

カ【九州・沖縄地区：福岡会場】

- ・第1期開催日：2020年7月25日（土）・7月26日（日）
- ・第2期開催日：2020年10月31日（土）・11月1日（日）
- ・会場：ソシアルダンスアカデミーダイナ
- ・住所：〒830-0032 福岡県久留米市東町6-15（電話：0942-35-4936）

(10) 内 容 ア 講義主題

- （ア）生涯スポーツと学校体育そしてダンス
- （イ）これからの学校学習とボールルームダンス

イ 実技指導

ダンス技術と指導法、模擬授業指導法、学習のまとめとしての発表会（ダンスパーティー）指導法、実技試験、授業の評価

(11) 期待される成果

- ア ダンスの裾野が拡がり普及・啓発につながる。
- イ 児童・生徒の人との係わりや健やかな体と豊かな心を育むなど発達課題の達成につながる。
- ウ 新学習指導要領により、学校授業でのダンスの採り上げが加速化される。
- エ 公教育である学校教育に採り上げられることは国民文化としての最短距離になる。

2 学校学習支援事業（キャラバン隊、行政・学校・団体等連携協力事業を含む）

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

- (1) 目的 文部科学省の新学習指導要領で、中学校は平成24年4月から「ダンスと武道」が男女ともに必修となり全面実施になっている。このことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、小・中・高等学校の学習指導要領を踏まえて、ボールルームダンスの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、ボールルームダンスの実際を見学・体験学習を通して学習意欲を喚起させることを目的として、学校へボールルームダンスのトップデモンストレーター及び指導者を派遣し、模範演技と体験講習をする。学校学習教材の研究・

開発を行いその積み重ねの成果を学校教員、一般及びボールルームダンス指導者に伝達し、普及・啓発に努める。

(2) 対 象 全国の小・中・高等学校の学校教員や児童・生徒、及び学校教育に興味のある一般の方。

(3) 内 容 全国の小・中・高等学校における授業化のサポート並びに、デモンストレーターや講師の派遣、模範演技、ダンス講習による体験学習の実施、及び広報。

(4) 期 間 通年

(5) 都道府県連盟学校学習委員

47都道府県連盟に学校学習委員会を設け、各都道府県教育委員会及び学校等と連携を図り、地域の学校を通じてボールルームダンスの普及・啓発に努める。

(6) 期待される成果

ア 体験を通して、ボールルームダンスの楽しさを伝え裾野の拡がりにつながる。

イ 国民文化としてのボールルームダンスの認知度を高める。

ウ 社会貢献の推進につながる。

エ 研究開発した成果を指導者養成講習会等を通じて指導、伝達できる。

オ 児童・生徒にボールルームダンスの楽しさや人との係わりを直接的に伝えることができる。

カ 都道府県連盟学校学習委員の普及・啓発活動により、地域における学校学習支援が活性化することが期待できる。

3 サマーセミナー、定期研修会

(3-1) サマーセミナー

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(1) 目 的 指導者を育成するための講師・試験審査員を育成する事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めるとともに、全国的に地域差のない、ダンス指導者のための講習ができる人材の育成を目指すことを目的とする。

(2) 対 象 本法人の会員・不特定多数の一般の方

(3) 募集方法 会報誌とホームページに公示し参加者を募る。

(4) 開催期日 2020年7月13日(月)・14日(火)

(5) 会 場 ティアラこうとう「江東公会堂」(東京都江東区住吉 2-28-36)

(6) 内 容 全日本チャンピオンによる講習、新しいサマーセミナー・バリエーションの発表、今年度の定期研修会のテーマの講習、講師・試験委員のための講習を行う。

(7) 期待される成果

年に1度本部で開催し、チャンピオンから最新の踊り方や、本部講師陣による講習技術、及び認定試験時における講習・採点判断の方法等の講習を受けることにより、ボールルームダンス技術の全国均一化を目指している。各県連盟・協会にて年に1度開催される定期研修会には、過去に本部から講師を派遣していたが、現在はその地域の指導者が講師を務める。

(3-2) 定期研修会

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、サマーセミナーが開催されなかったため中止した。

- (1) 目的 アマチュアダンス指導員及びプロフェッショナルダンス教師の会員に、年に1度、最新のダンス技術の講習を行い、日本全国の指導者の指導技術力の向上を目指すことを目的とする。
- (2) 対象 本法人の会員・不特定多数の一般の方
- (3) 募集方法 ホームページ、会員宛開催通知
- (4) 開催期日 各県にて年に1度開催
- (5) 会場 公共施設を使用する。
- (6) 内容 該当年度に行われたサマーセミナーの講習を基に行われる。
- (7) 期待される成果
日本全国で同じ内容の講習会を開催することにより、全国的に技術力の地域格差を解消できる。

4 地域協会支援事業

- (1) 目的 生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及を目的として、各都道府県地域協会がダンスを経験したことのない一般の人達も体験・参加できるようなイベント等を開催し、裾野を広げるとともに地域協会の活性化を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 参加対象 イベント等に参加する対象は、一般ダンス愛好者及びダンスを経験したことのない一般の老若男女。
- (3) 開催期日 各都道府県地域協会が定める。
- (4) 会場 各都道府県地域協会が定める。
- (5) 内容 各都道府県地域協会が開催する。ダンスを経験したことのない一般の人達も気軽に体験できるような一般参加型のイベント等の事業に対し、助成費を支給する。
- (6) 応募方法 別途定める企画書・予算書等を本部へ提出する。
- (7) 助成金額 本法人が定める基準による。
- (8) 終了報告 各都道府県地域協会は、事業終了後、遅滞なく終了報告書・決算書等を本部へ提出する。
- (9) 期待される成果
各都道府県地域協会において一般参加型のイベント等を開催することにより、地域協会の活性化を図るとともに、各地区における生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及促進及び底辺拡大に寄与する。
- (10) 特記事項 **新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域協会が事業を中止した。**
※支援状況：8地域協会 8事業

5 その他の活動

(5-1) ジュニアダンス開発

- (1) 目的 青少年の情操教育の一環及びボールルームダンスの若年層拡大を目的として全

国各地にジュニア・スクールを展開し、その開校教室に対し支援や助言を行うとともに、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。

- (2) 対 象 全国の未就学児・小学生・中学生
- (3) 開催期日 各会場により異なる。
- (4) 会 場 全国の各教室や公民館等で開催
- (5) 内 容 ジュニア・スクール開校教室は、本法人指定のカリキュラム（原則、1回につき60分～90分、13回を1クールとし年間で3クール）を参考にレッスンを行う。本法人は、ジュニア・スクール開講教室に対し、無料で出席カードとシールを配布するとともに、5名以上の生徒を有するジュニア・スクールに対し、1回の開催につき、1,500円の交通費の支援を行った。

※支援状況：15都府県 33教室 347名

- (6) 特記事項 ア 新型コロナウイルス感染症の影響により、ジュニア・スクールを開校するための「ジュニア・スクール指導員講習会」は中止とした。
 - イ ジュニア・スクールに現状調査や要望についてのアンケートを行い、今後の企画やイベント開催のための参考とした。
 - ウ ジュニア・スクール新規開校のための申請方法や必要書類を見直し、ホームページに掲載した結果、申請が増加した。
 - エ 日頃の成果を発揮する機会及び目標を掲げ達成感を感じてもらうことを目的としたバッジ・テストをリモート形式で実施した。
- ※関東・関西の7教室よりスタンダード23名（未就学級～5級）、ラテン・アメリカン27名（未就学級～5級）延べ50名の受験者が集まった。
- オ 「ジュニア・ボールルームダンス・ふぁみりー」の名称でジュニア関連の情報を発信するSNS（Facebook、Instagram、Twitter）を立ち上げ、家族で踊るダンスの動画を募集中。

（５－２）震災復興支援

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、支援活動を行わなかった。

- (1) 目 的 震災により甚大な被害を受けた被災地の復興を、ボールルームダンスを通じて応援することを目的とする。
- (2) 対 象 被災地の県民と県ダンス関係者
- (3) 内 容 ア 年1回程度の復興支援イベントを開催する。
- イ 復興支援活動を行う組織と連携して、ダンスを通じた復興支援活動を行う。
- ウ イベントの参加費は無料あるいは低料金とし、その収益は原則として復興の義援金へ寄付する。
- エ イベントに参加するデモンストレーター及びアテンダントについて各加盟団体、プロ選手会等に協力を呼びかけ、協力者については可能な範囲でサポートする。

（４）期待される効果

被災地の人々に、ダンスを踊りデモンストレーションを観るなどを通して、軽度の運動やストレスの解消など、心身の健康保持に役立ててもらう。また、イ

ベントを実施することで被災地ダンス界の結束と復興への意欲を高めてもらう。さらに、ボランティアとして参加するプロや選手にとっては被災地の実情を知り、ダンスを通して役に立つという貴重な体験となる。

第2. 相談・助言に関する活動

1 優良教室認定事業

- (1) 目的 本法人の定めた自主規制案に則ったダンス教室に認定を与え、営業内容等の助言をし、健全な営業ができるよう目指すことを目的とする。
- (2) 対象 本連盟所属プロ会員のいる教室。
- (3) 募集方法 ホームページに掲載し、広く一般社会に公表するとともに、本法人機関誌に掲載し、周知した。
- (4) 期待される成果
安心で安全なダンス教室を認定し、登録証を発行する。一般の方々が安心してボールルームダンスのレッスンが受けられる。
※優良認定教室：65 認定教室：1,045

第3. 調査・資料収集に関する活動

1 機関誌(ダンス・マイ・ライフ)作成事業

- (1) 目的 本法人が2020年度に行う諸事業に関し、各事業への理解及び参加を促す。併せて多くの人に、ボールルームダンスの魅力と本法人の活動を広報し、本法人が目指すダンス文化創造の土台づくりに貢献する。また、本誌は本法人と会員をつなぐ媒体として、2020年度の諸事業に関する情報を全国の会員へ伝え、スムーズな事業運営につなげる。
- (2) 配布対象 本法人の会員、全国の教育委員会等
- (3) 発行回数と発行部数
年間1回、87号を発行した。発行部数は10,000部(非売品)。
- (4) 内容 2020年12月10日発行
2019年度事業報告、2021スーパージャパンカップダンス予告など。
- (5) 特記事項 「toto スポーツ振興くじ」の助成を受け、発行した。

2 その他の活動

2-1 国際渉外活動

- (1) 目的 国際競技会における環境の整備並びに我が国ボールルームダンスの技術力向上を目的として、以下の事業を行う。
- (2) 事業内容 ①リモート会議により、World Dance Council との連携及び調整を行った。
②一般社団法人NDCJとの連携及び調整を行った。
③NDCJ公認競技会の実施及び運営を行った。

2-2 資料室運営

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、閲覧を中止した。

(1) 目的 ボールルームダンスとそれに関連して音楽やスポーツ科学、身体に関する様々な書物や映像資料等を収集し、ボールルームダンスの普及と技術向上に向けた研究・調査等をサポートする。

(2) 対象、閲覧要項

本法人の会員及び一般。利用は無料、閲覧のみで貸し出しは原則、不可。

閲覧時間：平日 10 時～18 時。土・日・祝日は休み。

(3) 収蔵内容 ①日本はじめ英国などのダンスの解説書

(昭和初期の貴重なものから戦後現在のものまで)

②ダンス雑誌 (昭和初期の貴重なものから戦後、現在のものまで)

③ダンス史や評伝、アルゼンチンタンゴ等、他ジャンルダンスの書籍

④ダンス音楽及びダンス映像等

⑤競技会プログラム、引退パーティプログラム

⑥学校体育教育に関する専門書 (青柳文庫)

⑦身体科学、スポーツ医学書 (青柳文庫)

※書籍約 500 冊、雑誌約 1100 冊

第 4. 資格付与に関する活動

1 プロフェッショナルダンス教師 5 級認定試験事業

(1) 目的 第 33 回の試験までは、国家公安委員会より風俗営業法からの適用除外を受けられる指導者を養成できる特定講習団体の指定を受けて、認定講習及び考査・認定試験を年に 2 回国家公安委員会指導の下全国 9 ブロックにおいて開催する事業。

(平成 27 年 6 月 17 日風俗営業法改正により、国家公安委員会の指定の必要がなくなった。)

(2) 参加対象 プロダンスインストラクター (プロフェッショナルダンス教師資格 5 級) 資格を取りたいアマチュアの指導員及び不特定多数の一般の方

(3) 特記事項 第 43 回は 4 月 24 日 (金) 開催を予定していたが、**新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。**

第 44 回は 10 月 23 日 (金) に開催された。受験者数 30 名で合格者 27 名。受験合格率は約 90% だった。

(4) 日程・開催地区・講習会場・試験会場

JBDF プロフェッショナルダンス教師 5 級認定試験 (集合講習及び試験) 会場

第 43 回 (2020 年度第 1 回) 試験日：4 月 24 日 (金)						
ブロッ ク	講習日・講習会場	試験会場	受験 者	合格 者	不合 格者	キャン セル

※第 43 回試験は新型コロナウイルス感染症拡大により中止

第44回(2020年度第2回) 試験日：10月23日(金)						
ブロッ ク	講習日・講習会場	試験会場	受験 者	合格 者	不合 格者	キャン セル
北海道	9月12日・9月13日 タカダンス栗林スタジオ	タカダンス 栗林スタジオ	3	3	0	0
関東 甲信越	9月24日・9月25日 埼玉県県民活動センター	埼玉県県民 活動センター	8	7	1	0
京浜 (神奈川)	9月23日・9月24日 横浜市技能文化会館	横浜市 技能文化会館	6	6	0	0
近畿	9月24日 アゼリア市民ホール	アゼリア 市民ホール	13	11	1	1
合 計			30	27	2	1

プロ5級	受験者数	合格者数	合格率
第43回	—	—	—
第44回	30名	27名	90%
合 計	30名	27名	90%

2 資格認定事業

- (1) 目 的 不特定多数の一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする認定試験の開催。
- (2) 参加対象 ボールルームダンスを指導することに関心のある一般の方から、指導技術の向上を目指す本法人の会員。
- (3) 特記事項 2020年度はアマチュアダンス指導員1級の認定試験が2021年3月29日に開催された。4名の受験者があり、2名が合格した。合格率は50%になる。

第5. 競技会に関する活動

1 JBDFジュニアダンスフェスティバル2020

- (1) 目 的 青少年の競技力向上と心身の健全育成の推進、並びに、スポーツの振興及び地域の活性化に寄与する。
- (2) 対 象 未就学児・小学生・中学生・高校生・大学生
- (3) 募集方法 各広域加盟団体、都府県加盟団体、認定教室、ジュニア・スクール開講教室に実施要項を送付した。また、会報誌及びホームページによる広報を行った。
- (4) 開催期日 2021年2月7日(日)～3月19日(金) ※申込み締切～審査終了

- (5) 開催方法 動画を送付してもらい審査を行うリモート形式により、予選と決勝を行った。
- (6) 協 賛 バルカーグループ、カバヤ食品株式会社、株式会社タニタ
- (7) 参加者数 645名（男190名・女455名）
- (8) 内 容 ・ちびっこダンス大会：未就学児がカップルで踊る競技を行った。
 ・ソロダンス大会：小学生低学年の部、小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生・大学生の部に分かれ、ソロで踊るシャドーダンスの競技を行った。
 ・カップルダンス大会：小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部に分かれ、男女カップル及び女子同士カップルの2部門においてスタンダード部門とラテンアメリカン部門の競技を行った。
- (9) 特記事項 独立行政法人日本スポーツ振興センターの「スポーツ振興くじ助成金」を受けて実施された。

2 JBDF全日本プロフェッショナルダンス選手権大会

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

- (1) 目 的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対 象 本法人の登録選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体、プロ選手会に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 2020年10月11日（日）
- (5) 会 場 愛知県武道館
- (6) 内 容 プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本グランドシニア選手権、シニア選手権等を行う。
- (7) 期待される成果
 競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成を推進するとともに、国内のボールルームダンスの普及・振興に寄与する。また、各広域加盟団体を持ち回りで開催することにより、各地区でのボールルームダンスの活性化と普及促進に寄与する。

3 日本インターナショナルダンス選手権大会

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

- (1) 目 的 国内外のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対 象 本法人の登録選手、外国人選手、他団体選抜選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体、プロ選手会、他団体等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 2020年6月20日（土）・21日（日）
- (5) 会 場 エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育館）

- (6) 内 容 海外のトップ選手及び著名審査員を招聘して行う国際競技会であり、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、グランドシニア選手権、全日本シニア選手権、ジュニア競技会、ジュブナイル競技会を行う。

- (7) 期待される成果

国際競技会を通して、ボールルームダンスの技術の向上とアスリートの育成及び、国際親善に役立つとともに、国内のボールルームダンスの普及・振興に寄与する。

4 スーパージャパンカップダンス

- (1) 目 的 国内外のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 開催期日 2021年3月6日(土)・7日(日)
- (3) 会 場 幕張イベントホール(幕張メッセ)
- (4) 後 援 スポーツ庁、千葉県、千葉県教育委員会、千葉市、特定非営利活動法人国連UNHCR協会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
- (5) 特別協賛 インドネシア元大統領夫人 ラトナ サリ デヴィ スカルノ様(レディー デヴィ スカルノ アワードとして、全日本セグエ選手権の各部門の1位から3位の賞金)
- (6) 協 賛 モダン出版(株)、(株)タカ・ダンスファッション、(株)ボールプランニングイケダ、ユニカルツーリスト(株)、株式会社 Studio33、(株)リリベット、オリエンタルバイオ(株)、(株)コミンチャーモ
- (7) 参加者数 1,444人(722組)
- (8) 来場者数 2,269人(一般・来賓・役員等2日間合計)
- (9) 内 容 コロナ禍での開催であったが、感染防止対策を徹底し、万全を期して開催し全日本セグエ選手権(プロのみ)、全日本選抜ダンス選手権(プロ・アマ)、ライジングスター競技会(プロ・アマ)を行い、スーパーシニア競技会、グランドシニア選手権、全日本ジュニア選手権、全日本ジュブナイル選手権については見送った。また、アマチュア愛好者によるデモンストレーションが披露された。
- (10) 特記事項 全日本選抜ダンス選手権のプロ・アマ各部門の総合優勝者に、スポーツ庁長官賞が授与された。また、全日本選抜ダンス選手権のプロ・アマ各部門の総合準優勝者に、千葉県知事賞が授与された。
- 本大会は「令和2年度スポーツ庁補助事業」として、新型コロナウイルス感染防止対策等に対し、補助金が支給された。

5 全日本10ダンス選手権大会

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

- (1) 目 的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対 象 本法人の登録選手、他団体選抜選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体・プロ選手会・他団体等に大会要項を送付する。また、会報誌及び

ホームページによる広報を行う。

(4) 開催期日 2020年4月26日(日)

(5) 会場 大森ベルポート・アトリウム

(6) 内容 スタンダード部門5種目・ラテンアメリカン部門5種目の合計10種目で競われる10ダンスの他に、ジャパン・スタンダードトロフィー及びジャパン・ラテンアメリカントロフィーを行う。

(7) 期待される成果

競技会を通してボールルームダンスの技術の向上やアスリート育成の推進及び、国内のボールルームダンスの普及と振興に寄与する。

第6. 競技選手の育成および指導に関する活動

1 強化指定選手助成事業

(1) 目的 国際的なレベルの選手を育てることを目的に、強化指定選手を認定し支援するとともに、選手の技術力及び競技力の向上を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。

(2) 内容 JBDF3大会の成績に基づく全国ランキングにより、強化指定選手を認定し、登録した選手に助成金の給付を行った。本年の競技会が、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となっており、来年の全国ランキングが定められないため、強化指定選手については、本年の全国ランキングを基に、本年度と来年度の2年間、同じ選手を認定した。助成金の給付額については、本年度と来年度の2年間で通常の高額の1年分とし、本年度は半額を給付した。なお、世界選手権へ出場した選手に対する代表助成金の給付については、今年度は世界選手権が開催されなかったため、給付していない。

2 その他の活動

(2-1) ナショナルチーム選手育成

(1) 目的 選手の技術力・競技力の向上とアスリートの強化育成を図り、世界に通用する選手を育てることを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。

(2) 内容 2018年に発足した科学委員会において、スタンダード選手5組、ラテンアメリカン選手5組の計20名のプロ選手が参加し、ダンス時の心拍数測定実験を実施した。この実験により、ボールルームダンス時の生体負担度が明らかになり、ダンス選手にとって必要な具体的な体力や運動能力が解明されることになる。実験で収集したデータについては分析中で、今後は、その結果を踏まえ、効果的なトレーニング法の開発、疲労回復のための食事や睡眠、その他ケアの方法などを含め、選手のコンディショニングやリカバリーに関する啓発活動を行っていく。

(2-2) スプリングキャンプ

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

- (1) 目的 ジュニアやジュブナイルを対象に、世界に通用する競技選手の育成を目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 キャンプ開催日当日16歳未満で、JBDF加盟団体登録選手または次の何れかの競技会出場経験者（日本インターナショナルダンス選手権大会、スーパージャパンカップダンス、小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ）
※参加者の父兄またはコーチーの見学可能
- (3) 募集方法 会報誌、ホームページ等による広報を行う。
- (4) 開催期日 2021年3月29日（月）
- (5) 会場 森下文化センター 多目的ホール
- (6) 内容 専門の講師によるスポーツストレッチやスポーツトレーニング、JBDFトッププロによる技術講習、アンチ・ドーピング講習、競技会形式練習等を行う。

【収益事業等】

1 出版物の刊行・販売に関する活動

- (1) 趣 旨 試験用の資料、会員が指導に必要な教本・教材の製作をする。
- (2) 対象 本法人の会員及び、正式なボールルームダンスを学びたい不特定多数の一般の方。
- (3) 特記事項 本年度は、サマーセミナーのポピュラーバリエーションDVD（フォックストロット・ジャイブ編）みんな de タンゴⅡDVD等を制作した。

【その他の事業（相互扶助等事業）】

1 海外で開催される競技会のチケット販売に関する活動

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、競技会が中止となったため、チケットを販売しなかった。

- (1) 目的 年1回、海外で開催される競技会のチケットを販売する。
- (2) 対象 本法人の会員
- (3) 募集方法 加盟団体および選手会に周知する。
- (4) 内容 競技会主催者と事前に打合せ、チケットを確保して販売する。
チケット購入の申込みやそれに係る手続きを一括して行い、会員が確実に海外競技会のチケットを入手できるよう、必要な事務処理を行う。

2 外国人招聘手続代行に関する活動

以下により事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外から選手や審査員を招聘しなかった。

- (1) 目的 世界的に活躍している選手や審査員を本法人の事業に招聘することにより、事業のさらなる発展を目的とする。
- (2) 内容 本法人の事業に関わる外国人のビザ申請に係る手続きを代行する。

3 JBDFプロフェッショナルダンス教師資格認定・試験審査員認定・採点管理者資格認定に関する活動

- (1) 目的 一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする。
- (2) 参加対象 ① JBDFプロフェッショナルダンス教師4～1級の講習及び認定試験を行なう。
② 正会員に試験審査員3～1級の講習及び試験を開催し認定する。
③ 会員に採点管理者資格1次又は2次の試験を開催し、資格を認定する。
- (3) 特記事項 ① JBDFプロフェッショナルダンス教師4級～1級認定試験を全国3箇所にて開催し、延べ36名の受験者があり、31名が合格した。
合格率は86.1%になる。
② 試験審査員3～1級の認定試験を4箇所で行い37名を認定した。
採点管理者認定試験を全国1箇所にて実施し、1次試験2次試験合わせて8名受験し合格者8名で、合格率100%となった。
- (4) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数

2020年度 プロフェッショナルダンス教師 認定試験試験日別集計表

		プロ4級			プロS3級			プロL3級			プロS2級			プロL2級			プロS1級			プロL1級			計		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
2020/10/23	関東甲信越	7	6	85.7%	2	2	100.0%	0	0	0.0%	8	8	100.0%	0	0	0.0%			%			%	17	16	94.1%
2020/10/23	近畿ブロック	5	5	100.0%	2	1	50.0%	3	2	66.7%	1	1	100.0%	1	1	100.0%			%			%	12	10	83.3%
2021/3/29	本部																5	4	80.0%	2	1	50.0%	7	5	71.4%
合 計		12	11	91.7%	4	3	75.0%	3	2	66.7%	9	9	100.0%	1	1	100.0%	5	4	80.0%	2	1	50.0%	36	31	86.1%

2020年度試験審査員認定試験結果

日 時	開催地区	1級試験審査員		2級試験審査委員		3級試験審査委員		実施場所	責任者
		受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者		
2020年8月20日	近畿ブロック			7	7			アゼリア市民ホール	橋本 剛
2020年10月7日	関東甲信越ブロック			5	5	6	6	埼玉県県民活動総合センター	河合 利勝
2020年10月28日	京浜ブロック			4	4	2	2	NATD	山内 国祥
2021年3月22日	本部	13	13					森下文化センター	山崎雄次郎
合計人数		13	13	16	16	8	8		

2020年度 採点管理者認定試験 実施結果

実施機関	講師	講習日	講習場所	試験管理責任者	試験日	試験場所	第1次				第2次			
							受験者	合格者	不合格者	合格率	受験者	合格者	不合格者	合格率
関東甲信越	河合利勝	2020/9/9	埼玉県県民活動総合センター2階205	久保田照人	2020/10/21	埼玉県県民活動総合センター2階205	7	7	0	100%	1	1	0	100%

4 会員向け福利厚生制度・団体保険に関する活動

- (1) 目 的 会員サービスの充実を図り、会員の定着と普及を図ることを目的とする。
- (2) 事業概要 ①損害保険会社等と提携し、長期休業補償制度を斡旋した。
②福利厚生物品を特別価格で斡旋した。
- (3) 対 象 本法人の正会員、登録会員
- (4) 内 容 ①広報誌やホームページ等で、会員に事業の概要を周知した。
②加入者からの制度費を集金するとともに、保険会社に制度費を納入した。
- ※制度加入者：28名